

山行報告

■「初めての山歩き教室」実技Ⅱ 鎌倉山

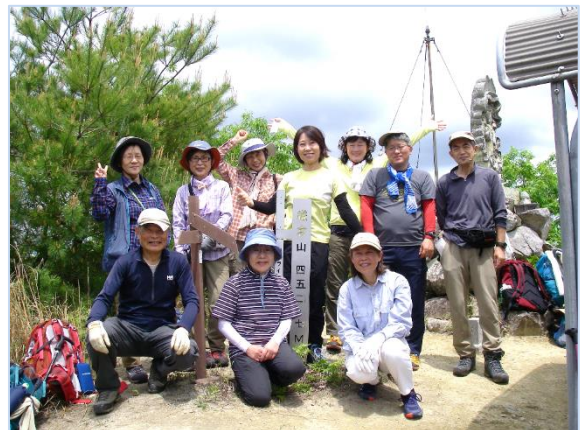
- 日 程：5月15日(土)
- 参加者：[教室生]A班・北川 高崎 田中 仲田 西村(珠) 西村(裕)
B班・立花 西村(信) 西村(佳) 松本 森川
[サポート]A班・L 垣内 SL 尾内 黒本 田羅間 春本 安田
B班・L 藤原(千) SL 瀧原 島谷 砂川(延) 須増
- 行動記録：普光寺駐車場 9:10 発～鉢尾峰(大天井) (10:05 着)10:10 発～柳峠(11:06 着)11:07 発～鎌倉山山頂(11:40 着)12:15 発～鎌倉寺(12:35 着)12:37 発～普光寺駐車場(13:25 着)

◆北播磨の山 鎌倉山 山行きに参加して

教室生・北川

初めての山歩き教室実技 5月15日の鎌倉山に参加させて頂きました。数日前からの雨の天気予報が少しずれて、何とか下山までは持ちそうとの予想の中、有り合わせの雨合羽をリュックに入れて相変わらずのランニングシューズで集合場所の普光寺へ。地元の方がグラウンドゴルフをされている横で、準備体操ストレッチをして登山道へ入りました。前回の善防山とは違い、植林された大きな杉林の中の山道は、景色を見ながら歩くのとは少し雰囲気の違い、何か厳粛な気持ちに？ 山道は、小石と落ち葉とぬかるんだ土と根節と、どこも気を付けないと歩きにくいですね。尾根の道まで上がると、少し汗ばんでいた顔に心地よい風が吹いていて、足取りも軽くなりました。

大天井での休憩では砂川会長より歩き方のレクチャーがあり、足の運び方に「なるほど」と思い、また、会員の方より各分岐点で地図上での位置の説明を聞きながら、目的の鎌倉山頂到着。有難いことに絶景の展望、明石大橋から淡路島に感激。花に詳しい方が最初の休憩ポイントと山頂で「ホオノキ」を見つけられ、下では花が咲いていたけれど山頂は蕾ですねと。



標高差を感じました。岩壁の石仏を覗き、鎌倉寺を通り下山、普光寺山門横でストレッチを行って解散。

加西市の地元に住んでいて、北に壁のように立っている鎌倉山はいつも見上げていましたが登るのは初めてで、山の深さとルートの種類と長さに驚きました。これからの講義と実技、引き続きお世話になりますが、宜しくお願いします。

■「初めての山歩き教室」実技Ⅲ 笠松山・読図

●日 程：5月23日(日)

●参加者：[教室生]A班・大塚 北川 高崎 田中 仲田 西村(珠)

B班・塩田 立花 西村(裕) 西村(信) 西村(佳) 松本 森川

[サポート]A班・L 砂川(延) SL 垣内 小田 乙坂

B班・L 尾内 SL 木村 黒本 佐々木 春本 安田 和田

●行動記録：皿池 12:55 発～吊り橋 13:40～笠松山(14:20 着)14:37 発～古法華寺(15:00 着)

◆報告

垣内

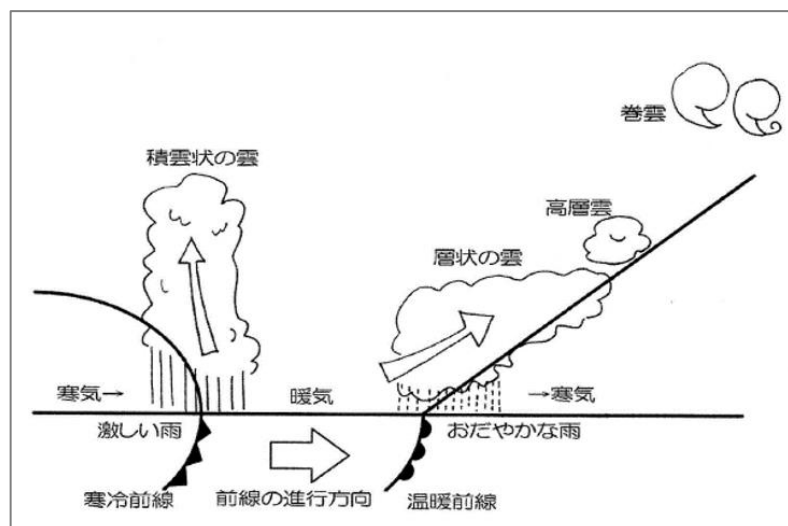
午前中の座学は「天候判断」を講師和田さん、そのあと「地図の見方」を講師佐々木さんでおこなわれました。受講生 13 名全員参加でした。昼食後笠松山読図山行に教室性 13 名全員参加で少し密ではと心配しましたが受講生の皆様はとても熱心に取り組まれておりました。参加していただいたサポーターの皆様有り難うございました。

◆座学と実技天候判断と地図の見方、コンパスの取扱い

教室生・森川

山の天気です。今まで登った山は、200～300m未満の高さです。朝、お天気がよければ「今から山へ登りませんか」と声かけして友達と登ります。この程度の高さでも、途中雨がパラパラと降ることがあります。「お天気悪くなるんやったかな」と少々焦りながら下山を急ぐのですが、雨もいつの間にかやみ登山口まで戻ると、すっかりいいお天気になっています。

高い山になると「気象判断」がしっかりできないと事故につながるというのも分かりました。今のところ天気図を見て判断が必要となるような山登りは予定にはなく難しいで終わってしまいました。





次に地図の見方です。コンパスって？見たのものはじめてでした。山登りしましたと言っても善防山、三草山、いこいの村はりまの展望台くらいです。山頂から眺めると思っていた位置関係にずれがあり、びっくりすることがあります。例えば、三草山の頂上から東条湖ランドが見えた時は、この方角に見えるのかと驚きました。

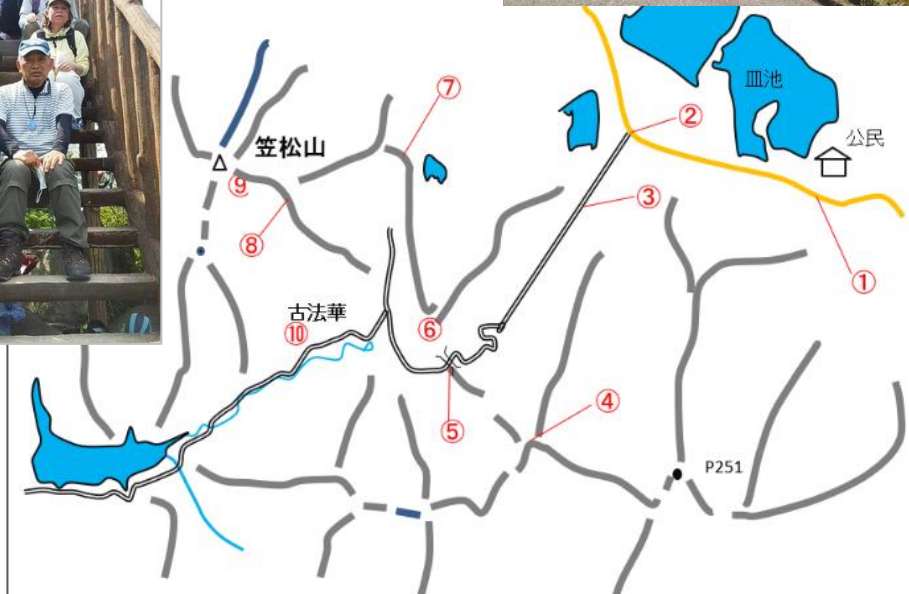
勉強では、コンパスを地図の上に置くところからおそわり、実技になりました。

笠松山を目指して出発地点から、片手に地図、首からコンパスをさげて始まったのですが、まだまだ分かっていません。

実際に登りはじめると前の人の足元を見てついていくのがやっとの状態です。ポイント毎に確認の声かけはあるのですが「えーっと、これがこうで・・・」なんて分かるまでに至らず、次々に進み下山となりました。

ただ、地図と方角には興味津々です。マイコンパスを手に入れて何とか使いこなせるようになりたいと思っています。「地図が読めなければ、山は安全に行けない」頑張ります。

【 読図・行程 】 皿池にて位置同定実習②～吊り橋⑤～笠松山⑨～古法華寺⑩



■高見城山

- 日 程：6月5日(土)
- 参加者：L 藤本 SL 島谷 阿久津 天野 生永 尾内 小田 木下 黒本 佐野 田中(重) 春本 安田 山下 山本(清)
- 行動記録：丹波悠遊の森駐車場 9:10 発～高見城山(10:10 着)10:45 発～紅白鉄塔(11:00 着)11:20 発～石戸山分岐(11:25 着)11:30 発～峠(県道291号線)(12:30 着)～丹波悠遊の森駐車場(13:00 着)

◆山頂からの大展望 高見城山

山本(清)

現地集合の丹波悠遊の森まで便乗させていただき、新緑の山並みや田植えの終わった田園風景を眺めながらお喋りの花が咲いた。

丹波悠遊の森は新型コロナの緊急事態宣言中とあってコテージやキャンプ場は閑散としていたが、熊や妖精などたくさんのチェーンソーアートが迎えてくれた。さあ頑張って歩こう。

緑いろの苔をまとった石ころ道は急登で前日に降った雨をたっぷり含んで滑りやすく汗がしたたり落ちた。そんな中、時折聞こえる「テッペンカケタカ♪やホ～～ッホケキョ♪♪」に励まされながら下を向いて歩いた。

「山頂まで200m」の標識の所で休憩をしたとき、ここまで鬼の形相で歩いていたように顔が緩むのが分かった。こんなキツイ場所のお城に関わった人々の苦労は並大抵ではなかっただろう。山頂からは雨上がりの澄み切った360度の展望を楽しむことができた。

次の鉄塔までしばらく歩いて少し早い昼食をとった場所に子どもの頃、「キツネのしっぽ」と呼んでいた植物がツクシを大きくしたような20cm位の新芽？を沢山出していた。新芽を出した様子は初めて見た。ヒカゲノカズラとも呼ぶそうだ。

ここからはフワフワ落葉の尾根道で、たまの急坂も安心して歩くことができた。

そんな夢のような登山道が一変したのは、巡視路を歩き終えて大きな峠を左に折れた所の「県道291号線」に出たときだ。県道とは名ばかりで苔が付いて湿ったごろ石や所々腐った倒木



もある。だんだんと足取りが不安定になってきたので慎重に歩いた。こんな荒れた県道は他にはないだろうと思った。かつては車が通っていたのだろうか。

30分ほど歩いた頃前方にアスファルト道が見えたときはこれで普通の道を歩けるとホッとした。

いい天気にも恵まれ、みなさんと無事に歩けたことに感謝しながら帰路についた。

《リーダーよりひと言》

今回の高見城山は1時間以上早く頂上に着いてしまいました。これは計画時点の歩行タイムの目測が甘かったことに加え、参加者全員の健脚ぶりが際立っていたのだと思います。

■桶居山・西から東へ

〈女性委員会〉

●日 程：6月9日(水)

●参加者：L島谷 SL安田 小田 垣内 笹木 佐野 徳本

●行動記録：鹿嶋神社鳥居集合 8:45 発～地徳山(9:20 着)～豆崎登山口(10:00 着)～JR 曾根駅(10:10 着)10:19 発～JR 御着駅(10:24 着)～深志野登山口(10:50 着)～桶居山(12:35 着)～桶居分岐(15:00 着)～馬の背(15:20 着)～鹿嶋神社鳥居(15:55 着)

◆がんばった桶居山 西から東へ

徳本

鹿嶋神社大鳥居に8時45分に集合、準備体操をして出発しました。地徳山は、急登だと聞いていたので不安でしたが、頑張ろうと思いました。先を見るとまだまだ急登が続いていて疲れがぞっとするので、先を見ないようにしてリーダーさんの足元のだけを見て登って行きました。登ってもまだまだ頂上に着きませんでした。やっと頂上に着きました。

頂上からの景色はきれかったです。

今から越えていく山を二つ眺めました。まだまだだと思いました。どんどん下ったり上ったりして二つ山を越えました。やっと豆崎登山口に着きました。

ここから歩道橋を渡って曾根駅をめざして歩きました。歩くのは、平地で楽々歩けました。曾根駅に着きました。御着駅行きの電車に乗りました。電車の中では少しゆっくりできました。

御着駅に着きました。深志野登山口めざして歩きました。

やっと深志野登山口に着きました。足がだるくなっていました。大丈夫かなと不安になりましたが、頑張ろうと思いました。ここも急登でした。岩場もあって大変疲れしました。

途中11時45分ごろ昼食でした。昼食を食べて少し休んだら元気になってきました。尾根を下ったり上ったりしました。桶居山やこけし岩が遠くに見えました。あそこまで行くのかと思うとぞっと疲れしました。でも頑張って行こうと思いました。どんどん登ったり下ったりしてやっとこけし岩に着きました。

こけし岩では、へとへとですぐ座り込んでしまいました。ここで少し休みました。

また、頑張って登ろうと思いました。やっと桶居山の頂上に着きました。今度は下りです。急な岩場の斜面を下って行きました。今度は上りです。ここの上りも大変疲れしました。

めぞすはあの鉄塔です。近くに見えたのになかなか到着しませんでした。

1、2回休みやっと鉄塔に着きました。大変疲れしました。鉄塔の所で休みました。メンバーの方々から、梅干しやレモンや氷をもらって元気になりました。



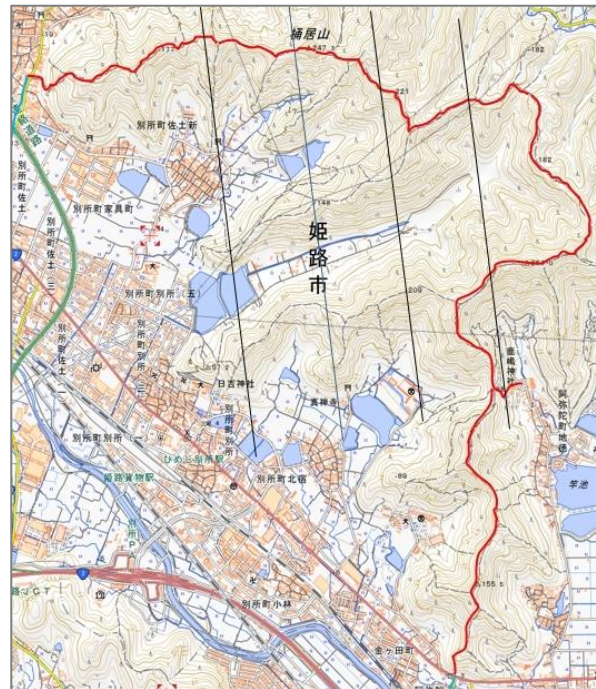
今度は、桶居山分岐をめざして登って行きました。はじめは、下りだったので楽でしたが、上りになったときは、足が重くてなかなか進めませんでした。ゆっくりゆっくり登って行きました。とても暑くて眠たくなってきました。熱中症にならないように水をしっかり飲もうと思って何回かに分けて飲みました。塩もなめました。こんな時は氷を持ってきたらいいと思いました。何回か休みをとってもらいました。休憩のたびに食べ物を口にしました。食べたら元気になりました。

やっと桶居山分岐に着きました。一步一步ゆっくりゆっくり登って行きました。

やっと馬の背の尾根に着きました。予定では百間岩から下りる予定でしたが、馬の背から下ることになりました。馬の背を下るころには元気になっていました。

頭がすっきりしてどんどん下って行くことができました。やっと馬の背の登山口に着きました。足はだるかったのですが、気持ちはすっきりしていました。不思議でした。

リーダーさんはじめメンバーの方々、いろいろ助けていただきありがとうございました。お世話になりました。



《リーダーのコメント》

暑い暑い日でしたが、無事に終了いたしました。体調と暑さにより少し歩きにくくなり、安全のために鷹ノ巣を経由せず、馬の背をおりました。全員無事に下山し、冷たい飲み物で笑顔で解散できました。